2026年9月

杏林大学医学部付属杉並病院
無痛分娩のご案内

・当院では産科医、助産師、麻酔科医が連携して
「硬膜外麻酔」による**計画無痛分娩**を実施しております

痛みの軽減
※全くなくなるわけ
ではありません

メリット

・行動に制限がある
・分娩までに時間がかかる
ことがある
・器械（吸引/鉗子）分娩と
なる可能性がある
・経過によっては、帝王切開
となる可能性がある

デメリット

入院
当日

入院後の流れ

月日	（　　/　　）	（　　/　　）	（　　/　　）		
経過	**入院当日**	**子宮口拡張～分娩誘発**	**分娩誘発開始～硬膜外カテーテル挿入**	**硬膜外カテーテル挿入後～分娩**	**分娩後**
処置	胎児心拍モニターを入院時に装着します	胎児心拍モニターを子宮口拡張処置後に装着します	胎児心拍モニターを分娩誘発開始時から分娩まで持続的に装着します		
	必要に応じて子宮の入口を広げる処置を行います	・必要に応じて子宮の入口を広げる処置を再度行います ・分娩促進剤の点滴を持続的に行います	・痛みが規則的かつ強くなったタイミングで背中に硬膜外カテーテルを挿入し、硬膜外麻酔を開始します ・硬膜外カテーテルをポンプに接続して持続的に麻酔薬を投与します ・心電図、血中酸素飽和度モニターを装着します	・痛い時にご自身でポンプのスイッチを押して麻酔薬を追加投与できます ・器械分娩（吸引/鉗子）を行うことがあります	分娩診察終了後 硬膜外カテーテルを抜きます
活動	特に制限はありません		麻酔開始後は足に力が入りにくくなるためベッド上のみです	麻酔の効き方を確認しながらベッド上で体制を変えます	・分娩後2時間はベッド上で過ごします。 ・麻酔終了4～6時間後から歩行を開始します。 ・初めて歩く時は必ずスタッフが付き添います
食事	特に制限はありません	21時以降は禁食です	・禁食です　・水分摂取は少量可能です		麻酔終了2時間後から食事ができます
排泄	特に制限はありません		麻酔開始後は尿意がないため導尿を行います（2～3時間毎）		歩けるようになるまで導尿を行います
清潔	特に制限はありません		・硬膜外カテーテル挿入後はシャワー浴はできません		・温かいタオルで体を拭きます

※ 時間帯や曜日によっては対応できない場合もあります

分娩誘発当日の流れ

・お食事は禁食です（前日21時以降は固形物摂取不可、
　ゼリーや水分は摂取可能です）
・硬膜外カテーテルを朝挿入します
・分娩誘発の薬剤を点滴で持続的に使用します
・胎児心拍モニターを分娩まで持続的に装着します
・痛みが規則的かつ強くなったタイミングで
　薬剤投与を開始します

※麻酔開始のタイミングは医師や助産師と相談して決定します

麻酔開始の流れ①

・分娩室へ移動して、横向きで背中を丸める体制をとります
・心電図、血中酸素飽和度モニターを装着します
・麻酔科医が硬膜外カテーテルを背中に入れます
・痛みの状態をみて、硬膜外カテーテルから麻酔薬の投与を開始します
・硬膜外カテーテルをポンプ（PCA）に接続して持続的に麻酔薬を投与します
・痛い時にご自身でポンプのスイッチを押して麻酔薬を追加投与できます

麻酔開始の流れ②

麻酔の影響

尿意を感じなくなったり、足の力が入りにくくなります

・定期的に導尿を行います（2～3時間毎）
・ベッド上で過ごします（歩行できません）

※計画日以外の破水や自然陣痛発来等は、基本的に対応できません

無痛分娩Q&A

Q お産までにどれくらいかかりますか？

A 個人差がありますが、分娩誘発開始の日に分娩になるとは限りません。分娩までに数日かかる場合があり、時間帯や曜日によって無痛分娩に対応できない場合もあります。

Q 費用はどれくらいかかりますか？

A 分娩費用+15万円です。硬膜外カテーテルを挿入した時点で費用がかかります。

無痛分娩Q&A

Q カテーテルを入れる時に痛みはありますか？

A 背中に局所麻酔をします。注射の痛みがありますが、その後は背中を押されているような感じだけで強い痛みはありません。

Q 痛みはどれくらい軽減しますか？

A 全くなくなるわけではありません。麻酔の効き方にも個人差がありますが、麻酔薬を調整しながら陣痛の痛みを和らげます。

ご不明点は
産科外来受診時もしくは
お電話にて
お問い合わせ下さい

TEL 03-3385-1281
（代表）
産科病棟・産科外来
9:00～16:00